

第6回 研修会報告

日時：2月15日(日) 10:00~15:00

場所：サンライフ防府

午前 テーマ「快適で衛生的な生活環境を保つために」

講師：山口大学医学部附属病院 薬剤部

准教授 尾家 重治 先生

先生のお話で、多くの宣伝を何も考えず鵜呑みにしていたことに気づかされた。全く効果がなく反対に毒性や環境汚染の原因になっている物が多く驚いた。たとえばお茶に抗菌効果はなく、栄養があるため作り置きは緑膿菌や大腸菌が増殖する。お茶と比べると無糖コーヒーは菌の繁殖はない。家庭用オゾン発生器は危険、粘膜を刺激し発がん性があるとの事。国民生活センターから購入等は避けた方がよいと明記されていた。入れ歯洗浄剤が肺炎の原因になることも、機械的清掃が一番必要。そして容器は1週間に1度は乾燥させる事。消毒薬の噴霧は不確実、大量に吸入、目に浴びる事の毒性が問題。消毒は熱水消毒が一番抗菌効果がある。スポンジは緑膿菌の巣になる等エビデンスに基づく興味深い実例の数々にびっくりさせられた。除菌、消臭効果をうたった商品がブームであるが有害なものも多くあることに、環境破壊の一員にならないようにしたいと考えさせられた。参加された皆さんからも驚きの声が多く聞かれた。(参加者：20名)

国本



午後 テーマ「嚥下臨床に携わる歯科衛生士が知っておきたい
摂食嚥下の知識」

講師：ささお歯科クリニック 口腔機能向上センター

院長 佐々生 康宏 先生

摂食嚥下のセミナーに参加するのは1年ぶりでした。午後からの1時は体温が下がり睡眠を誘発する時間帯だそうです。佐々生先生のセミナーは、動画や症例をもとに時には質問を投げかけてのシンキングタイムがあったり、お茶やとろみを使っての嚥下時の口腔内の動きを体感したりであったという間の2時間でした。毎日、特養や居宅の患者様の口腔ケアに携わっていますが、他職種との連携がとれておらず摂食嚥下のアプローチまでは関わる事ができていないのが現実です。患者様にとって「食べることは生きる幸せ」と、常々、念頭に思っています。歯科の枠を超えて、他職種と連携を図るため自分自身をもっとステップアップしなければと痛感した一日でした。 間庭ユミ

(参加者：会員23名 会員外3名)